

発言通告表（一般質問）

令和4年2月定例会

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
8	小池 義治（10）	<p>1. 「ふじスマイルバッジ」のさらなる拡大について</p> <p>富士駅周辺地区のにぎわい創出を目的とする団体である富士TMO富士健康印商店会は、「マスクの下はこの笑顔！」というキャッチフレーズとともに笑顔の写真を印刷した缶バッジを店員がつけて接客する「ふじスマイルバッジプロジェクト」を展開している。バッジは市内の障害者施設等で製作されており、この活動は昨年来、コロナ禍における工夫として多くのメディアでも取り上げられてきた。富士市発のこのプロジェクトがさらに広がることを期待し、以下、質問する。</p> <p>(1) 庁内においては既に商業労政課の職員などが着用しているが、他課にも拡大してはどうか。</p> <p>(2) この取組は富士駅周辺地区の商店以外にも、市内ホームセンター等で採用されているが、さらなる市内企業への拡大に向けて支援してはどうか。</p> <p>2. 2040年に向けて市役所を段階的に分散化し、その端緒として富士駅北口に建設予定の公益施設に市庁舎の一部機能を移転開設してはどうか</p> <p>富士市役所本庁舎は1970年の建設から既に52年が経過しているが、E S C O事業等による長寿命化によって2040年頃まで使い続ける方針が示されており、今年2月1日開催の全員協議会で示された長期見通しにおいて、新庁舎建設の事業費の概算額は最大で257億3400万円とされている。</p> <p>テレワークが一般的な働き方となる中で、国内大手企業においては本社を縮小したり、売却したりする動きが活発化しており、市役所においてもそうした発想に立って、現在の本庁舎からスケールダウンの方向性を探るべきと考える。</p> <p>本市では現在、社会教育課が教育プラザ内に、健康政策課等がフィランセ内に、上下水道部が静岡県富士総合庁舎内にあるなど、市役所機能は一部分散化されているが、さらに、富士駅北口周辺地区再開発、新富士駅周辺整備、小中学校等の統廃合後の跡地利用などの機会を捉えて本庁舎機能を計画的に部分移転することで分散化を拡大し、建て替え後の新庁舎の規模を5階建て以下に減らすなど、建設費が少なく済む小さな施設にできないだろうか。</p> <p>富士駅北口に建設予定の公益施設の一部に市庁舎の一部機能を移設し、市職員の新しいスタイルの執務場所とするとともに、審議会等の会議場所とするなど、市民とのコミュニケーションとコラボレーションを創出し、富士駅周辺のにぎわい創出につなげることを提案し、以下、質問する。</p> <p>(1) 今後の中心市街地再開発などの機会などを逃さぬよう、本庁舎建て替えが迫ってからではなく今から、2040年頃に</p>	市長 及び 教育長 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
8	小池 義治（10）	<p>向けて市役所の機能等の在り方について長期計画を策定してはどうか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルスの感染拡大時には市職員のテレワーク・分散勤務体制が取られたが、それは恒久的な制度として定着しているか。</p> <p>(3) 富士駅北口周辺地区再開発事業で建設される公益施設に、富士市庁舎の機能を部分移転してはどうか。</p>	<p>市 長 及 び 教 育 長 担 当 部 長</p>